平成３１年度　高志小学校

グランドデザイン「六花の輝き」

高志小学校の校章は、雪の結晶を模した形です。雪のことを「六花」ともいうことから児童会は六花児童会と呼び、各学年の愛称を花の名前にしています。学校・家庭・地域・中学校区の連携の中で子どもたちが美しく輝く自分だけの花を咲かせることを願っています。

教育目標　**喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども**

春日中学校区小中一貫教育で目指す姿

「１５の春」

夢・志をもち、自ら選択した進路・生き方の実現に挑戦する子ども

重点目標　「 めざせ！ たかし 」

「た」　助け合い、認め合う子ども　（社会的な能力）

「か」　考えて行動する子ども　（自己制御能力）

「し」　真剣に目標に向かって努力する子ども　（課題対応能力）

保護者・地域の願い

○学習や日常生活に対して、きまりを守り　主体性や積極性を発揮して活動してほしい。
○さわやかなあいさつや適切な言葉遣いがしっかりできるようになってほしい。
○誰とでも仲良く、友達のことを思いやって生活できる子どもになってほしい。
○ふるさと「高志」、母校「高志小」を大切にして、夢・志をもってよりよく成長してほしい。
○メディアをコントロールし、自分の生活習慣を改善し、健全な生活を送ってほしい。（「謙信公が見てござる」アウトメディア啓発パンフ）

【目指す育ちの姿と具体的な方策】：チーム高志＜高志小教職員の力の結集＞

かかわり：「豊かな心、社会性の育成」

「た」：社会的スキルを身に付け、温かな人間関係を築く。
⇒異年齢集団（なかよし班）の活動と振り返りの工夫
全校ソーシャルスキル教育（ＳＳＥ）と実践化
人権感覚を育む人権教育・同和教育の推進
全校で取り組むあいさつ運動

「た」：活動を通して、集団への愛着をもつ。
⇒学級の話合い活動の重視と内容や実践の掲示
学級活動の活発化、認め合う活動の日常化

「か」：学校生活でのマナーやルールの大切さを知り、自らを律して行動する。
⇒基本的な学校生活のルールやマナーの明確化と指導
「生活スタンダード～学校生活の一日」の活用
家庭と連携したモラル学習

成果指標
「自己有用感」への肯定８０％以上
「友達と活動するのは楽しい」８０％以上
「学校生活のきまりを守っている」８０％以上

学び：「学力の向上」

「た」「か」：学習のルールやマナーを進んで守ろうとする。
⇒「聴く」「話す」指導の工夫
「学びのスタンダード～授業編～」の活用

「た」「し」：友達との学び合いで考えを深める。
⇒かかわりながら学びを深める授業づくり・授業研究
授業のＵＤ化の日常化
Web 配信集計システムの活用
地域人材との連携による体験的で多様な学習活動

「か」「し」：学年設定の時間、家庭学習に取り組む。
⇒「学びのスタンダード～家庭学習編～」の活用
「家庭学習がんばり週間」の設定
家庭と連携した学習習慣の定着

成果指標
「話合いで考えが確かになったり深まったりしている」８０％以上
「授業がよく分かる」８０％以上
「学年で決まっている時間、毎日家庭学習をしている」８０％以上

健やか：「健康、体力づくり」

「し」：体づくりを意識し、汗をかくまで運動する。
⇒体育授業導入のランニングタイム
運動遊びの奨励と環境整備
冬場の運動量の確保（なわとび等）

「か」：すっきり目覚め、しっかり朝ごはんをとる。
⇒年３回の強調週間の設定による生活習慣の見直し
食事のバランス・生活のリズムの学級指導とお便り
家庭と連携したアウトメディアの約束づくり

「た」「し」：向上心をもち、支え合って体力向上に取り組む。
⇒核になる行事（運動会、タカリンピック等）での交流の工夫、掲示物やワークシートの工夫
体を動かす楽しさを味わう授業づくり

成果指標
「汗をかくまで運動したり、遊んだりする」８０％以上
「すっきり目覚めること」「バランスのよい食事」８０％以上
「めあてに向かって励まし合って運動する」８０％以上

学校・家庭・地域との連携・協働

○コミュニティスクールの推進
学校運営協議会での熟議と協働、学校運営への参画
高志小・学校支援本部との連携

○中学校区小中一貫教育の推進
中学校教諭やＡＬＴによる乗り入れ授業
交流活動や体験活動
小中協働の授業づくり・授業参観

○幼保小の連携
幼保小連絡会の開催
児童・教職員の交流活動
スタートカリキュラムの実施

○家庭・地域との連携
ＰＴＡ活動の充実
春日地域青少年育成会議との連携
町内会、後援会との連携